

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
	名称	株式会社 黄桜の里			電話番号	0184-69-2611			
	所在地	秋田県由利本荘市東由利老方字畑田28番地			FAX番号	0184-69-2839			
	設立年月日	平成7年5月25日			HPアドレス	http://www.ont.ne.jp/~k-vurari/			
2 資本金		96,000千円	市出資金	90,000千円	市出資割合	93.8 %			
3 事業内容		1. 道の駅「東由利」関連施設の管理運営(東由利温泉保養施設黄桜温泉「湯楽里」(温泉、売店)、東由利産地形成促進施設(レストラン)、ファーストフード店等) 2. 道の駅「東由利」に係る受託業務(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理) 3. 上記に関連する一切の事業							
4 財務状況(平成29年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜き			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜き		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	62,571	58,950	60,975		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	234,075	231,823	221,622
	負債	20,280	14,315	14,737		(内市からの補助金・指定管理料)	28,223	27,457	27,832
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	△ 2,644	2,539	1,964
	純資産	42,291	44,635	46,238		当期純利益	△ 2,943	2,343	1,604
	利益剰余金	△ 53,709	△ 51,365	△ 49,762		減価償却前当期利益	△ 1,219	3,006	1,731
5 役職員の状況(平成29年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)			7 (退 0)		正職員数(うち市出向者・退職者)			21 (退 0)	
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(平成29年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)				
①補助金(助成金)		0	0	0					
②利子補給		0	0	0					
③税の減免額		0	0	0					
④その他		0	0	0					
小 計		0	0	0					
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0					
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用		0	0	0					
小 計		0	0	0					
合 計		0	0	0					
【参考】指定管理料(税込)		30,481	29,654	30,059	道の駅周辺施設				
(2) その他(平成29年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度					
①損失保証契約に係る債務残高		0	0	0					
②貸付金残高		0	0	0					
③出資金(増資等)		0	0	0					
合 計		0	0	0					
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第23期決算報告書(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 2 3 期)

自 平成 2 8 年 4 月 1 日
至 平成 2 9 年 3 月 3 1 日

株式会社 黄桜の里

由利本荘市東由利老方字畑田 2 8 番地

電話 0 1 8 4 - 6 9 - 2 6 1 1

事業報告書

第23期

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

今期におきましては、昨年より約844万円の売上減少と、人数でも11,000人の減少となり、各セクションが全体的に来客数が下回ってしまった状況でありました。

しかしながら、原価率34%台に抑えたり、労働時間の効率化や、見直しなど経費削減に繋がる努力で約964万円の削減をするなどし、最終的に約160万円の黒字化を達成することができました。今期最終で、約200万円の純利益が予測された為に宴会の備品関係の補充30万円と期末手当10万円の支出をさせて頂いております。

- ◎ 経営状況におきまして、売上予算対比 91. 9%、前年対比では95. 7% と 5月・8月1月と多忙期の売上の伸びが無くなり、前年の売上に対し差がついてしまっております。その中でも、集客力の強い宴会だけが、前年対比101. 9%として全体をフォローしている状況であります。今後も集客力を活かせる宴会を強化していかなければならないと考えております。

- ◎ 当期純利益におきましては、昨年と比較しますと、売上減少ではありましたが、経費削減により効率化が図られ収支のバランスが良く、黒字化で推移しております。機械室のポンプ類やボイラーの工事関係で、フロントのみ休業となり売店など多少影響を受けておりました。しかしながら、一般管理費の人件費や水道光熱費等の削減以外にも宴会の売上増加で赤字にならず、当期純利益を出し黒字化を達成して来ております。

- ◎ 各セクション状況に対しましては、

フロントの売上につきましては、予算対比93. 7% 前年対比94. 1%となっております。機械室のポンプ類やボイラーの工事関係で、3月が5日間フロントのみ休業となり心配をしましたが、回数券の販売企画で逆に前年対比110. 7%を達成しております。

売上内容を見ますと利用人数が、前年対比で約4, 300人の減少となっております。このことから、現在行っているコミュニティーバスとの連携での利用促進と利用客の掘り起こしなどを強化して行かなければならないと考えております。

レストランでは、売上予算対比では 88. 3%と、前年対比で 90. 7%でありました。年間を通して「道の駅の日」を始め、道の駅バトルなど各企画を行って来ておりますが、9月までの前半の前年対比での達成率が88. 3%と伸び悩み、後半で94%と上げて来ておりますが、最終で約1割減少となってしまっております。利用人数においても同様約1割減となっており、今後集客率を上げる為の企画の練り直しが必要と考えております。

宴会におきましては、売上予算対比 97. 2% 前年対比では 101. 9% と約147万円の増加とし、売上全体をカバーして来ております。特に9月、3月の売上達成率は130%以上とし、利用人数の減少はありますが、客単価の高い法要関係の増加が売上増加の要因と見ております。

FFにおきましては、売上予算対比87. 7% 前年対比では94. 2%と約143万円の減少と7月・12月のみ達成率100%以上でその他の月では90%台と翌年を越すことができないでございました。利用人数的には、前年より100%以上の月も半分あることから、客単価の低下が売上減少に繋がったものと見ております。

売店におきましては、売上予算対比83. 9% 前年対比87. 5%と、約250万円減少となり工事のあった3月には前年対比85. 7%と低迷しておりましたが、全体的に利用人数を見ても88%と1割以上の減少となっております。各セクションを見ますと売店が一番利用率が低下してしまっており、今後は商品の見直しと、地域商品への移行も合わせて行って行き、売上増加を目指したいと考えております。

売上目標につきましては、目標予算額 20, 400万円に対し91. 9%前年対比では95. 7%となっております。前年対比では、工事期間もありましたが、金額で約844万円の減少となってしまうました。人数対比では、93. 7%となり約11, 000人の減少と利用率が下がり、月約900人の減少となってしまうました。黒字化をするには、今後さらなる効率の向上が求められると考えております。

① 貸借対照表、損益計算書 承認の件
貸借対照表

資 産 の 部			負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額	金 額
A 流動資産	50,457,211	流動負債 ①	14,335,340	
現金・預金	41,448,379	買掛金	5,569,857	
売掛金	368,722	未払法人税等	184,000	
たな卸資産	8,423,390	未払費用	6,662,383	
その他流動資産	216,720	前受金	0	
B 固定資産	10,517,572	預り金	115,200	
有形固定資産	277,107	未払消費税	1,772,400	
建物	70,677	金 券	31,500	
車輛・運搬具	7	固定負債 ②	401,200	
工具・器具・備品	13,748	D 負債合計 ①+②	14,736,540	
建物付属設備	192,675	資本金 ③	96,000,000	
一括償却資産	0	資本剰余金 ④	0	
無形固定資産	76,440	利益剰余金 ⑤	-49,761,757	
投資等	10,164,025	繰越利益剰余金	-49,761,757	
出資金	105,000	E 純資産合計 ③～⑤	46,238,243	
保険積立金	10,006,769			
保証金	0			
長期前払費用	52,256			
C 繰延資産	0			
A+B+C 資産合計	60,974,783	D+E 負債及び純資産合計	60,974,783	

(単位:円)税別

損益計算書

(単位:円)税別

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
売上高	187,544,910	売上原価	73,045,908
経常損益の部			
計 ①	187,544,910	計 ②	73,045,908
①-②		A 売上総利益	114,499,002
		販売費及び一般管理費	146,597,453
		計 ③	146,597,453
A-③		B 営業利益(損失)	-32,098,451
営業外収益	34,065,260	営業外費用	2,988
(委託料収入29,867,653)			
計 ④	34,065,260	計 ⑤	2,988
B+④-⑤		C 経常利益(損失)	1,963,821
特別利益	11,982	特別損失	186,959
損益の部			
計 ⑥	11,982	計 ⑦	186,959
C+⑥-⑦		D 税引前当期純利益(損失)	1,788,844
		E 法人税及び住民税	185,124
D-E		F 当期純利益(損失)	1,603,720

お 願 い

事業報告は、本株主総会において修正のない限り、これを直ちに事業報告とし、あらためてお送り致しませんので、ご了承くださいますようお願い致します。

事業計画案承認の件

第24期事業計画案

《 黒字化の継続に向け効率化を強化し、収支のバランスで純利益の増加を目指す 》

事業	内 容
目 標	1、 人材のレベルアップと、最小限の人材で効率化を進め接客対応にあたる。 2、 さらなる由利地域の食材の利用と、それに伴う商品開発で売上増加を目指す。 3、 黒字化を継続し、集客率の増加と経費の削減等を模索しつつ、利益を出して健全経営を目指す。
営 業 面	1、 フロント ① 「道の駅の日」、企画風呂の告知の強化(ツイッター、広報の活用、タウン紙等) ② お盆前、年度末の利用率強化策(割引回数券の販売) ③ パークゴルフ場との協力強化(増設記念への協力:割引券発行・大会への協賛等)でのPRと利用率の増加を図る。 2、 売 店 ① 由利本荘市地域の商品コーナーの充実を図り、新商品の増加で売上増加を狙う。 ② 「黄桜すい」のキーワードによる、新商品開発で集客率と売上増加を狙う。 3、 食事処「やしお」 ① 新たな企画への参加や、既存の企画などで利用者の取り込み強化をしていく。(道の駅バトル・まるっと鳥海わくわくキャンペーン・道の駅クルメめぐり等) ② 地魚の安定化を図り、新規メニューで、ふぐ料理の実現をしていき話題性でも売上に繋げる。 ③ 「黄桜すい」に合わせた、メニューや、スイーツの開発と販売 ④ 夜の小宴会強化の為に、魅力ある器や出し方、食べ方、地域の食材利用の検討 4、 宴 会 ① 法要関係の商圏拡大に合わせて、要望も変化している為の対応・・・洋テーブルでの充実(テーブルなどの備品の補充等行っていく) ② 秋田市への宴会利用のPRと、取り込み企画の開発、日沿道利用での商圏にポイントを置く。 5、 ファーストフード ① 由利本荘市の食材利用による、商品メニューの差別化による高単価を狙う。「黄桜すい」のキーワードによる商品開発も強化し、売上増加に繋げる。
経 営 面	1、 ◎ 前期の売上金額(187,544,910円)に対し、今期は 6.6% アップ(約1,200万円)の目標額 200,000,000円とし、目標達成に努力する ◎ 第24期の当期純利益の目標を、前期黒字額の187%の 3,000,000円を目標とし、収支のバランスを図り効率化で3期連続の黒字を目指す。
施設、その他	1、 老朽化の為、見えない箇所の設備関係が故障してきている為に早期の点検と、補修に努めたい。 2、 今期も浴場関係や、宴会場関係の改修工事が入る為に、営業に影響しない様に最小限で行えるよう協議していく。

第24期 売上予算と前年売上実績対比

平成29年4月～平成30年3月

セクション		金 額		人 数
フロント	予 算 額	21,300,000	予 算	57,650
	月 平 均	1,775,000	月 平 均	4,804
	単 価	369		
	前 年	20,141,026	前 年	53,176
	前年実績対予算	105.8%	前年実績対予算	108.4%
宴 会	予 算 額	81,650,000	予 算	17,750
	月 平 均	6,804,167	月 平 均	1,479
	単 価	4,600		
	前 年	80,218,367	前 年	16,912
	前年実績対予算	101.8%	前年実績対予算	105.0%
レストラン	予 算 額	51,175,000	予 算	39,100
	月 平 均	4,264,583	月 平 均	3,258
	単 価	1,309		
	前 年	45,803,039	前 年	36,419
	前年実績対予算	111.7%	前年実績対予算	107.4%
売店A	予 算 額	19,620,000	予 算	12,100
	月 平 均	1,635,000	月 平 均	1,008
	単 価	1,621		
	前 年	17,448,072	前 年	10,983
	前年実績対予算	112.4%	前年実績対予算	110.2%
FF	予 算 額	25,660,000	予 算	50,200
	月 平 均	2,138,333	月 平 均	4,183
	単 価	511		
	前 年	23,397,862	前 年	46,395
	前年実績対予算	109.7%	前年実績対予算	108.2%
その他	予 算 額	758,000		
	月 平 均	63,167		
	前 年	671,268		
	前年実績対予算	112.9%		
売上値引き	予 算 額	-163,000		
	前 年	-134,724		
合 計	予 算 額	200,000,000	予 算	176,800
	月 平 均	16,680,250	月 平 均	14,733
	前 年	187,544,910	前 年	163,885
	前年実績対予算	106.6%	前年実績対予算	107.9%